

第二節 明治三十三年

明治三十三年東京美術學校年報〔これ以降は年度別〕

甲款

概況

本年度〔明治三十三年四月～同三十四年三月〕内ニ於テハ新ニ施設シタルモノナシ 唯其概況ヲ舉グレバ從來日本畫科ニ写生教室ヲ別設シ生徒ヲシテ専ラ草木鳥獸生人ノ写生ヲナサシメタルト昨三十二年ニ於テ造形ノ技ヲ長セシメンタメ彫刻科中ニ塑造科ヲ新設シ且ツ彫刻、彫金、鍛金、鑄金諸科ノ生徒ニモ亦此主旨ヲ以テ塑造ヲ傍修セシメタルトハ各其成績ノ進歩ニ於テ見ルベキモノアリ

規程

本年度内ニ於テ規則ヲ改^{〔解説1〕}正シタルハ圖書講習科規程及入學規程等ナリ 從來本校圖書講習科ハ道府縣立學校圖書教員ニシテ尚其技術又ハ學科ヲ補修セント欲シ入學ヲ願出ルモノハ之ヲ許シタルガ両三年来各種學校ノ増設漸ク多ク從テ圖書教員ニ欠乏ヲ來シタル際ナルヲ以テ是等學校ノ教員ニシテ入學ヲ願出ツルモノヲ扶掖教養スルモ亦目下ノ急務ナルニ依リ入學者ノ範圍ヲ擴メ道廳府縣立ノ學校ノミナラズ公私立中學校高等女學校實業學校ノ圖書教員ニシテ尚其技術又ハ學科ヲ補習セント欲シ入學ヲ願出ルモノハ之ヲ許スコト、セリ

設備

本校入學者中中學校卒業生ニシテ入學ヲ願出ルモノアルモ往々実技ノ試験ニ於テ其力未ダ足ラザルノ故ヲ以テ落第ヲ見ルハ遺憾ノ至リナルノミナラズ一面ニ於テハ順序的普通教育ヲ受ケタルモノ、入學志望ヲ杜塞スルノ傾キアリ 之レ俊秀ヲ採擇スルノ道ニアラズ 故ニ規則中第九条但書ヲ改正シ中學校卒業生ハ試験ヲ須井ズシテ先以テ假入學ヲ許シテ若干月間実技ヲ練習セシメ而シテ後試験ヲ經テ本入學ヲ許スコト、シ又全時ニ入學試験課目中ノ實技ノ部及豫備ノ課程中ニ於テ多少ノ改正ヲ加ヘタリ

校地ハ建造物ノ増設ニ依リ漸ク狹隘ヲ感ゼリ 又校舍ハ本校開設前ノ建築ニ係ルヲ以テ多クハ技藝ノ教室ニ適セズシテ狹隘ナルノミナラズ逐年破損ノ箇所ヲ増加シ改築ノ必要倍々焦眉ノ急ニ迫レリ

年度内ニ於テハ校舍ノ増築改築ナキモ水道布設ノ計畫ヲナン僅ニ其一部分ヲ布設シタリ

圖書標本ハ年度内ニ於テ少許ヲ買入レタリト雖モ未ダ以テ充分ナラズ 更ニ増備ノ必要アリ

職員

教授ハ定數ニ充タズシテ昨年ニ比スルニ其數ヲ減セリ 之レ主トシテ休職又ハ海外留學ヲ命セラレタルニ由ル 助教授囑託講師教務員事務員ノ前年ニ比シテ一二名ヅ、ノ増加ヲ見ルハ教授ノ不足ヲ補ヒ又ハ教課用務ノ繁多ナルニ伴ヒ之ヲ増シタルニ由ル然レドモ之レ一時ノ補足ニ過ギズシテ未ダ須要ヲ滿タスニ足ラズ 將來ニ於テ教授助教授及書記ヲ増スベキ必要アリ

生徒

生徒ノ操行及學力、入學者學力ノ程度年齢并ニ其健康ノ狀態等前年ニ比シテ共ニ著シキ差異ナシ

豫備之課程生徒ノ前年ニ比シテ其數ヲ増シタルハ喜ブベキ現象ナリ 各本科生中塑造、彫金ヲ除クノ外其數ノ少シク減シタルハ前年入學者ノ稍少キニ依ル 撰科生モ亦減セリ 之レ成ルベク入學者ヲ本科生ニ取りテ撰科生ノ入學ヲ漸次ニ減少セシメントスルニ由レリ

退學死亡者ハ前年ニ比シ増減ナシ 唯除名逐學ニ於テ増加セルハ欠席ノ甚ダ多キモノ又ハ規則ニ背反シタルモノヲ處分シタルニ依レリ

明治三十四年七月卒業スベキ生徒ノ學術實地指導ノ為九月末ヨリ

十月初旬ニ至ルマテ二週間ヲ以テ教授一人助教三人嘱託員一人

雇員一人書記一人ヲシテ之ヲ引卒セシメ京都奈良ニ出張ヲ命シ生徒ヲ統勵シテ其旅行ノ成績ヲ徵シタルコト前年ニ同シ

本校生徒ハ皆自費通學ナルヲ以テ寄宿生ニ關スル事項ノ申報スベキモノナシ

將來施設上必要ト認ムル件

從來本校生徒中比較的撰科生ノ多キハ畢竟本校ハ普通教育系統以外ニアルヲ以テ普通教育ヲ具フル入學志望者ノ少キニ因ル 之レ概スベキ現象ナルガ故ニ爾後成ルベク多ク本科生ヲ入學セシムルノ道ヲ開カンガ為別項規程中ニ記スガ如ク本校規則中第九條但書ヲ改正シテ假入學ヲ許スノ制ヲ設ケタリト雖モ之レ唯一時ノ急ヲ救フニ過キズ 且技藝ハ中年ヨリ之ヲ學習セシメンヨリハ若年ヨ

リ之ヲ學習セシムルノ進歩ノ早キノ優レルニ如カズ 故ニ本校ニ在テハ今後直ニ高等小學卒業ノモノヲ取りテ技藝ノ初歩教育ト普通學ヲ併セ教フルコトヲ得ベキ方法ヲ設クルハ最モ必要ノ事タリ 宜シク本校課程中ニ三四學年ノ豫科ヲ増設スベキナリ

建築科ハ去ル明治廿二年本校開設以來規則中ニ之ヲ置クモ事實ニ於テ之ヲ欠クコト既ニ久シキニ及ベリ 而シテ現今圖技科中ニ於テ僅ニ建築裝飾ヲ兼修セシムト雖モ固ヨリ完全ナルコト能ハズ 宜シク建築裝飾科トシテ別ニ之ヲ新設スベキナリ

本校卒業生ノ圖畫教員トシテ地方ノ學校ニ聘用セルハ、モノ比年漸ク多ク今ヤ大ニ不足ヲ感セリ 宜シク現今ノ圖畫講習科ノ規模ヲ擴張シテ圖畫教員ヲ養成スルノ道ヲ設クルコト必要ナリ

石材及牙角彫刻ノ教室ハ未ダ實際ニ之ヲ設クルヲ得ズ 之レ亦施設スベキノ要アリ

校舍ノ狹隘ト不適當トハ前項設備中ニ記シタルガ如クナルヲ以テ改築ノ必要ハ年ト共ニ迫レリ 殊ニ塑造科教室ノ如キハ一時從來ノ建物ヲ以テ之ニ充ツト雖モ教授上不便ヲ感スル尠カラズ 故ニ差向キ之ガ増築ノ必要アリ

本校ニハ雨天体操場ノ設ケナシ 宜シク速ニ建設ヲ要ス 圖書標本ハ毎年少許ヲ購入シ其蒐集ニ努ムト雖モ未ダ不足ヲ免レズ 漸次ニ増備スルノ必要アリ

本校ニハ未ダ成績品及標本陳列場ノ設ケナシ 蓋シ本校ハ技藝ヲ修メシムル所ナルヲ以テ其成績ノ如キハ年ヲ逐フテ増加スルモ現今ニ至テハ陳列スル所ナキガ為空シク之ヲ收藏スルノミ 若シ之ヲ陳列スルヲ得バ一ハ以テ外人ヲシテ一目ノ下本校教授ノ狀況

ヲ知ラシムルヲ得一ハ以テ生徒ヲシテ奮勵ノ念ヲ起サシメ修學上ニ裨益アル少カラズ 標本モ亦陳列スル所ナキヲ以テ徒ラニ出納ノ手數ヲ繁多ナラシムルノミニシテ教授上ノ不便尠カラズ 之レ亦陳列場ヲ新設スルノ急ヲ要スル所以ナリ

教授助教授ノ不足ハ教課上最モ欠典トスル所ナルヲ以テ之ガ費額ヲ増スノ必要アリ

學生費ハ從來不足ナルヲ以テ生徒ヲシテ充分ノ修學旅行ヲナサシムル能ハズ 從ヒテ見聞ヲ廣メ良績ヲ學ケ難シ 其費用ヲ増スス必要ナリ

雜件

研究生實地研究ノ資ニ供センガ為滋賀縣廣島縣大阪府下ノ社寺ヨリ寶物^{〔解説4〕}修繕ノ依頼ヲ受ケタルガ年度内ニ於テ竣工セルヲ以テ更ニ引續キ滋賀縣社寺ニ於ケル寶物修繕事業ノ依頼ヲ受ケ着手ノ準備ヲナシタリ

本年度内生徒實驗ノ資ニ供センガ為他ヨリノ依頼ヲ受ケテ製作ニ^{〔解説5〕}從事シタルモノ、中重ナルモノヲ舉グレバ左ノ如シ

- 一 菊 藤 掛物 對幅 竣工 第一師團司令部ヨリ依頼
- 一 御慶事實表 壹卷 同 東京帝國大学ヨリ依頼
- 一 桐鳳凰掛物 壹幅 同 文部省ヨリ依頼
- 一 臚銀製 壹個 同 同上
- 一 麒麟置物 壹個 同 同上
- 一 藤原時代 壹軀 同 遞信省ヨリ依頼
- 一 木彫舎人像 壹對 同 靜岡縣駿東郡役所ヨリ依頼
- 一 銅 製 鶴 壹對 同 長崎縣吉田健康氏銅像建設委員ヨリ依頼
- 一 吉田健康胸像 壹軀 未竣工

- 一 鍛鉄花瓶 壹對 同 衆議院ヨリ依頼
- 一 劍狀銅標 壹基 同 北海道炭鑛鐵道株式会社ヨリ依頼

解説

1 規則改正 (図画講習科規定改正、仮入学制度実施その他)

一、明治三十三年八月、図画講習科規定を次のように改正した。

〔東京美術学校規則〕第三十九條 師範學校及公私立中學校、高等女學校、實業學校ニ於ケル圖畫教員ノ職ニ在ルモノニシテ尙其技術又ハ圖畫ニ關スル學科ヲ補修セント欲シ當該學校長ノ紹介ニ依リテ入學ヲ願出ヅルトキハ適當ト認ムル者ニ限リ毎學年ノ初メニ於テ圖畫講習生トシテ試驗ヲ用井ズ之ヲ許スコトアルベシ

〔東京美術学校一覽 從明治三十三年至明治三十四年〕

二、明治三十三年十二月、左記のように入学規定を改正し、仮入学制度を設け、翌三十四年より実施した。

〔東京美術学校規則〕第九條 入學者ハ年齡滿十七年以上滿二十六年以下トシ品行善良身體強健ニシテ左ニ掲グル課題ニ合格スルモノトス但公私立中學校卒業生ハ該校長ノ證明ニヨリ無試験ニテ假入學ヲ許シ豫備之課程以外ニ於テ若干月間毛筆畫及木炭畫ヲ練習セシメ其志望ノ科 (繪畫、彫刻、圖案、彫金、鍛金、鑄金、漆工ノ内) ヲ定メタル後前文技術ノ試験ヲ施シ合格ノモノハ直ニ本入學ヲ許シ不合格ノモノハ假入學ノ資格ヲ失フモノトス